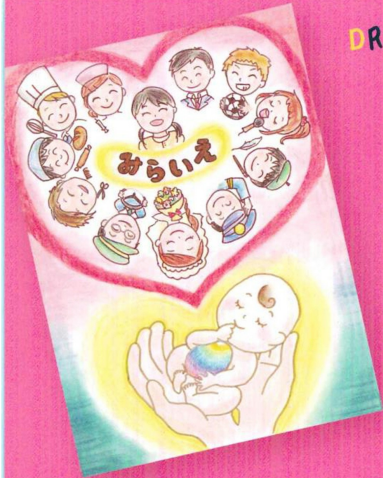


DREAM for your future

夢のたねで未来絵



このメッセージは、子どもたちが持っている未来への無限の可能性を「夢のたね」と呼んでおり、その子どもたちの「夢のたね」の芽を未来に伸ばしてあげられるようにする保育園のメッセージとなっています。「未来へ」ということで、私たちは「夢のたね」の可能性が成長につながるよう水や栄養を与え、子どもたちの「未来へ」つなげられるよう、そして未来に続く絵、つまり「未来絵(みらいえ)」という絵を、白いキャンパスに自分色のカラー付けて描ける子に成長できるような保育を目指すことを意味しています。

「未来へ続く」と「未来への絵」という二つの意味を併せ持つ「未来絵」という言葉は、子どもたちだけでなく、菊美会職員全員にも前向きな姿勢で、自分の得意分野で「未来絵」とつなげて欲しい、これが私たち菊美会の「夢のたねで未来絵」につながります。

経営理念

私たちは若い世代を応援し、
思いやりがあり元気で明るく頑張る
子どもたちを育て
未来へつなげていきます

経営ビジョン

子どもがあふれ
人と自然のふれあう社会づくりの為に
できることから取り組みます

保育士の1日

菊美会の保育園ではたらく保育士の一日の仕事内容を見てみましょう!



しあがし

菊美会



昭和27年(1952年)の戦後復興期に、創設者野原キクが「地域の働く母親の為に」との思いから、自宅を開放したのが、「菊美会」の保育園の始まりです。創設者の思いを引き継いで、現在菊美会で6園を運営し、6000名近くの子どもたちが日本の未来を背負っていく子どもたちとして成長し羽ばたいています。

保育士をはじめ職員は皆、子どもたちに豊かな愛情を注ぎ、一人ひとり違った個性を大切に、同時にその個性の中にある無限の可能性を保育の中での取り組みを通して引き出し、励ましてあげることで、私たちが目指している子どもたちの持っている無限の可能性(夢のたね)を未来へ伸ばす「夢のたねで未来絵(みらいえ)」へと繋げられるような保育士そして保育園でありたいと思っています。また保育園はそれぞれのライフ・ワークのバランス



を考えながら、安心して長く働くことができるような職場環境作りを心がけています。是非私たちのメンバーになり、ともに活躍して頂きたいです。

社会福祉法人菊美会 理事長 坂田 衛